

報告・その他 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

部 会 報 告

1 平成 23 年度秋季研究大会

標記の大会は、平成 23 年 11 月 4 日(金)に千葉県立生浜高等学校を会場として開催されました。当日の日程、内容は次のとおりです。

- | | | | |
|-------|---|-------|-----------|
| 8:50 | ～ | 9:25 | 受 付 |
| 9:30 | ～ | 10:15 | 公 開 授 業 |
| 10:20 | ～ | 10:40 | 開 会 等 |
| 10:45 | ～ | 11:50 | 研 究 発 表 I |
- (1) 「平成 23 年度計算力テストの
実施結果について」
木更津東高等学校 三浦 和雅 先生
- (2) 「平成 23 年度東京理科大学の
入試問題を中心として」
小金高等学校 坂本 大輔 先生

- | | | | |
|-------|---|-------|------------|
| 13:00 | ～ | 14:00 | 研 究 発 表 II |
|-------|---|-------|------------|
- (3) 「文字の書き方、記号の読み方」
野田中央高等学校 小林 中 先生
- (4) 「通信制高校における数学教科指導
(数学 I, 数学 II) の実践
—生徒の実態に基づいた面接指導
(スクーリング) の展開—」
千葉大宮高等学校 尾村 博昭 先生

- | | | | |
|-------|---|-------|-----|
| 14:10 | ～ | 15:40 | 講 演 |
|-------|---|-------|-----|
- 「コンピュータ・アートの再発明」
多摩美術大学 情報デザイン学科 教授
久保田 晃弘 先生

- 久保田先生が、この数年間にコンピュータを用いて制作された作品を紹介して頂きました。コンピュータ・アートは、誕生から既に 50 年以上が経過しているそうです。現代におけるコンピュータ・アートの意義や数学との関わりについて分かりやすく話してくださいました。

- | | | | |
|-------|---|-------|---------|
| 15:40 | ～ | 16:00 | 研 究 協 議 |
|-------|---|-------|---------|

2 平成 24 年度総会並びに春季研究大会

標記の大会は、平成 24 年 6 月 6 日(水)に、千葉県立船橋啓明高等学校を会場として開催されました。当日の日程、内容は次のとおりです。

- | | | | |
|-------|---|-------|---------|
| 9:00 | ～ | 9:40 | 受 付 |
| 9:45 | ～ | 10:35 | 公 開 授 業 |
| 10:45 | ～ | 11:50 | 総 会 等 |
| 12:50 | ～ | 13:50 | 研 究 発 表 |
- (1) 「平成 24 年度大学入試センター試験(数学)
のアンケート調査結果について」
成東高等学校 大木 喜信 先生
- (2) 「数学的活動を重視した教材の研究
—特に、『予測・表現・検証』を中心に—」
佐原高等学校 宮部 智哉 先生
- | | | | |
|-------|---|-------|-----|
| 14:00 | ～ | 15:30 | 講 演 |
|-------|---|-------|-----|

- 「大学生数学基本調査から
見えてきたもの」
国立情報学研究所
社会共有知研究センター長・教授
新井 紀子 先生

- 近年、大学生の数学力の低下が問題視され、大学で高校数学の補習授業を行う必要性が出てきました。この現状を踏まえ、日本数学会は大学生の数学的素養と論理力の実態を把握するために、「第一回大学生数学基本調査」を実施しました。その結果をもとに、今後高校における数学教育では何が求められるかについてお話をいただきました。

- | | | | |
|-------|---|-------|---------|
| 15:30 | ～ | 16:00 | 研 究 協 議 |
|-------|---|-------|---------|

3 部会長に渡邊茂通先生、副部会長に川戸功一先生、弓削直樹先生就任

今年度の総会において、新たに部会長に渡邊茂通先生(千葉東高等学校長)が就任されました。また、副部会長に川戸功一先生(磯辺高等学校長)と弓削直樹先生(佐倉西高等学校長)が就任されました。